

市事研 会報 おおさか 翔

平成30年3月7日 発行 大阪市立小中学校事務研究会 会長 西尾 吉弘 編集 同事務局

ホームページアドレス：<http://www.y1.x312v.smilestart.ne.jp/>

幹事会報告 平成30年2月19日（月）大阪市教育センターにおいて幹事会を開催した。
詳細は次のとおり。

1 予算補正について

雑収入、報償費（研修会講師謝礼）、消耗品費（運営・活動用消耗品）、印刷製本費（全事研大会記録集）、筆耕翻訳料（手話通訳料）等の支出に伴う予算補正について承認された。

2 役員等選出委員会の設置について

現役員等の任期が終了することに伴い、次期役員等の選出を行うため、会則第21条により役員等選出委員会を設置。役員等選出委員は幹事から5名選出、委員長及び委員は次のとおり。

委員長	委員
委員	委員
委員	

3 連絡事項

(1) 今年度の活動について

事務局・会報199号、200号、201号、202号、203号発行
・転任個人報告書、会報204号 3/7発送予定
・文書分類ファイル用背ラベル作成中

研究部・第49回全国公立小中学校事務研究大会 京都大会 発表
・「学校事務ハンドブック・財務運営編」の改訂に向けて研究を進める。

研修部・平成29年12月11日（月）実務研修会開催
①出産・育児等に関する給与関係事務について
②休日の振替・宿泊を伴う学校行事の引率業務を行う職員の勤務時間の割振りについて
・平成30年1月25日（木）パソコン研修会開催

(2) 第49回全国公立小中学校事務研究大会 京都大会について

平成29年8月2日（水）～8月4日（金）開催

市事研は8月3日（木）第3分科会を担当

分科会テーマ 「提案型の学校事務職員をめざして」

～子どもたちの学びを豊かにするチームの一員として～

分科会会場 ロームシアター京都 ノースホール

平成29年12月22日付 記録集を各校へ1冊発送

(3) 業務連絡

・学校維持運営費予算等について
・音声応答装置購入の事務手続きについて
・就学援助費について
・教職員給食費にかかる給与控除の同意書について

(4) その他

・全事研会報229号、230号配付



大阪市立小中学校事務研究会

平成30年度 実務研修会及び総会

平成30年5月25日（金） 場所：港区民センター

詳細は後日お知らせします。ご予約ください。

全国公立小中学校事務研究会評議員会・役員研修会報告

2月22日(木)江東区総合区民センター レクホールにおいて評議員会及び役員研修会が開催された。開会行事の後【第1号議案】第49回全国公立研究大会(京都大会)決算報告【第2号議案】平成30年度 暫定予算書(案)について【第3号議案】50周年記念事業 補正予算書(案)について【第4号議案】50周年全国研究大会(千葉大会)について、全ての議案が承認された。その後、本部からの連絡事項として①活動経過報告②今後の大会主管等について③事務局から、地区大会への文部科学省の講師派遣等についての諸連絡④情報推進部から各調査について、学校財務ウィークポスター写真募集などの諸連絡⑤研究開発部より50周年記念全国研究大会(千葉大会)の提案概要について、第51回全国研究大会(岡山大会)開催についての諸連絡が行われた。午前の最後には平成31年に開催が予定されている岡山大会について毛利実行委員長よりプレゼンテーションが行われた。

午後は役員研修会として「学校における働き方改革の推進について」と題し、文部科学省初等中等教育局企画官 佐藤 人海 様より文部科学省行政説明が行われた。12月に文部科学省が取りまとめた学校における働き方改革に関する緊急対策について、これまでの経緯やこれからの方向性、実現のための方策などについて、解説された。次に「第3期学校事務のグランドデザイン中間報告と今後の方向性として」と題して、グランドデザイン策定委員会がこれまで行ってきた活動内容の報告後、ワークショップとして、これからめざすべき学校事務職員像や役割をテーマに意見交換を行い、どのようにグランドデザインに関連づけることが良いかをグループごとにまとめて発表した。その後、支部間の意見交換や評議員会全体の質疑応答が行われ、評議員会・役員研修会は閉会した。



平成29年度 全国公立小中学校事務職員研究会セミナー



平成30年2月23日(金)東京都江東区江東公会堂 ティアラこうとうにおいて50周年記念全事研セミナーが開催された。はじめに記念式典が行われ、全国公立小中学校事務職員研究会 会長 鳥本 安博 様より、50周年の節目を迎えるにあたり、これまでを振り返りながら「事務をつかさどる」ことの意味を考え、次のステージへ歩みを進めることが新しい学校教育には必要であると述べられた。記念式典のあと、文部科学省大臣官房審議官(初等中等教育局担当) 白間 竜一郎 様より、学校事務職員を巡る動向と初等中等教育の当面の課題について文部科学省行政説明が行われた。主に①近年の事務職員を巡る動向について②新学習指導要領について③教員の働き方改革について④「人生100年時代構想会議」及び新しい経済政策パッケージについて(平成29年12月8日閣議決定)の説明があった。「学校における働き方改革」の実現に向けて「チーム学校」の理念を踏まえ、教員と多様な人材の連携により、学校教育活動を充実させるためには、学校の事務機能強化が重要であると述べられた。

その後、平成30年8月1日～3日千葉ポートアリーナにて開催予定の50周年全国研究大会(千葉大会)について、大会実行委員長 松本 良子 様より、大会テーマを「学校組織開発とマネジメントの向上」とし、全国の学校事務職員の皆様と「半世紀にわたる歩みを、さらなる希望に満ちた明るい未来につなぐ」思いを熱く語り合おうと大会への参加を呼びかけた。

午後からは、全国公立小中学校事務職員研究会 副会長 大村 一弘 様より、全事研活動報告が行われた。文部科学省委託事業 平成29年度学校の総合マネジメント力の強化に関する調査研究「学校徴収金会計業務における教員の負担軽減のための調査研究」についての説明があった。

その後、茨城大学大学院 教育学研究科 准教授 加藤 崇英 様より「今後の学校組織開発の在り方とマネジメント力の向上」と題し、組織開発の必要性についての講義が行われた。組織的な開発として効果や成果を出すために必要な課題として①業務改革②管理職との協働③研修(OJTとOff-JT)を挙げられ、校長・教頭の経営に対する支援、分担、協働を拡げていくためには、実務・研修における管理職との協力関係が重要であると述べられた。

最後に、パネリストとして文部科学省初等中等教育局財務課 課長 合田 哲雄 様、茨城大学大学院 教育学研究科 准教授 加藤 崇英 様、豊橋市教育委員会教育部教育政策課 事務指導主事 風岡 治 様をお迎えし「新たなステージを歩む事務職員の責任と自覚」をテーマに、パネルディスカッションが行われた。学校組織をより機能させるためのマネジメント力向上に果たす学校事務職員への期待について、ヒト・モノ・カネの計画性をもった学校と地域の関係を構築するマネジメントがいっそう求められ、まさに学校事務職員の出番であるという激励の言葉で閉会した。

平成29年度 神戸市立小学校事務研究大会報告



平成30年2月6日(火)神戸市総合教育センターにおいて「子供の学びと育ちを支援する学校事務」を大会テーマに平成29年度神戸市立小学校事務研究大会が開催された。

開会行事終了後、教育研究者/学校マネジメントコンサルタント 妹尾 昌俊 様より「学校事務職員の未来～事務をつかさどりながら、クリエイティブな仕事を楽しむ～」と題して講演Ⅰが行われた。講演では「事務をつかさどる」「教頭・副校長の多忙化解消」「人材育成」といったテーマを中心に、学校事務職員がさまざまな課題に対して、どのような役割を担っていくべきなのか、各地域での実践事例等を紹介しながら進められた。その後「新学習指導要領と学校事務職員」と題し、神戸市教育委員会 学校教育課 学校運営支援担当 指導主事 中川 典之 様より講演Ⅱが行われた。新学習指導要領について、神戸市教育委員会が作成しているリーフレットを基に説明があり、カリキュラム・マネジメントの確立に向けて、財務面に専門的な知識を有している学校事務職員が、教員や管理職と同じ方向を向いてどれだけ議論を深めていくことができるかが非常に重要であるとお話いただいた。



午後からは「『神戸の学校事務』をつかさどる～どう変わるのか、どう変えるのか～」と題し、神戸市立小学校事務研究会研究委員会より研究発表が行われた。これまで研究会が描いてきた学校事務職員像と今般改正された学校教育法の趣旨が示す学校事務職員のあり方は決して異なるものではない、今必要なことは「つかさどる」ことにとどまらない「学校事務職員の可能性」について、さらに切り拓いていくことであるということ、実践例を基に発表が行われた。研究発表後の助言では、神戸市小学校長会副会長 山本 政直 様から学校経営への参画について、参画しづらいと感じることもあるかもしれないが、管理職や教員は参画してくれることを待っている。できることから積極的に取り組んでいってほしいとお話があり、次に全国公立小中学校事務職員研究会 会長 鳥本 安博 様からは、共同事務室や相互支援体制は学校事務職員のためだけにあるのではなく、学校のため、子どもたちのためということが第一にあることを忘れてはならないとお話をいただいた。最後のグループ討議では、ここまでのさまざまな話もふまえながら「事務をつかさどる」ことについての積極的な意見交換やグループ発表が行われ盛会のうちに大会が終了した。

近畿公立小中学校事務職員研究会学校事務セミナー報告

2月8日(木)大阪府教育会館(たかつガーデン)において「創造しよう!学校事務の新世紀を」をテーマに、近畿公立小中学校事務職員研究会 学校事務セミナーが開催された。開会行事の後、各支部の活動報告や、50周年全国研究大会(千葉大会)に向けた取組等の発表があった。その後「会議力アップで働き方改革!業務改善を促進するホワイトボード・ミーティング®セミナー」と題して、株式会社ひとまち 代表取締役 ちょん せいこ 様を講師に迎えて研修会が行われた。

はじめに、今回の研修会のテーマである「ホワイトボード・ミーティング®」についての説明があり、実際にホワイトボードを使って、隣の参加者とペアになって近況報告をしあう時間が取られた。会議や授業といった、大勢の人がいるなかで自分の意見を発表することは容易ではない。まずはペアで話す時間を作ることで意見が出やすい環境をつくり、「参加のハードル」を低くして一人ひとりの議論への参加度を高めることが、ファシリテーターの役割であると述べられた。またホワイトボードに書くことにより、意見の可視化が促進されて会議の内容が明確となり、効率的・効果的に会議を進められると述べられた。

続いて「ホワイトボード・ミーティング®」の基本的な考え方として、「心の体力」という概念を用いて説明がなされた。自分らしく生きるためには「心の体力」を温めることが必要であり、そのためには、一人ひとりが本来持つ力を発揮できる、エンパワーメントな集団に属することが大事であるとされる。そこで「ホワイトボード・ミーティング®」という、誰もが意見を言える安心・安全な環境調整を進め、一人ひとりの力が活かされる、効率的・効果的な「元気になる会議」の技術が必要であると述べられた。進め方として、ファシリテーターがどんな意見でも要約せずに書いてその意見を承認し、9つのオープン・クエスチョンや8つのあいづち等を用いて情報を深め、出された意見を構造化して具体的な結論や行動計画を決めていくというプロセスである。説明の後、実際にグループごとに「最近の自らの仕事に関して」「卒業式の準備」というテーマで「ホワイトボード・ミーティング®」を行い、その効果を参加者も実感することができた。

最後に、写真を交えながら、授業やビジネスの場など幅広い世代・領域での「ホワイトボード・ミーティング®」の活用実践の紹介が行われ、研修会が締めくくられた。

9つのオープン・クエスチョン

- ① ~というところ?
- ② どんな感じ?
- ③ 例えば?
- ④ もう少し詳しく教えて
- ⑤ 具体的にどんな感じ?
- ⑥ どんなイメージ?
- ⑦ エピソードを教えてください
- ⑧ なんでもいいですよ
- ⑨ ほかに?

8つのあいづち

- ① うんうん
- ② なるほどなるほど
- ③ わかるわかる
- ④ そうなんだ
- ⑤ へえ
- ⑥ だよ
- ⑦ それでそれで
- ⑧ そっかあ



市事研で文書分類用ラベルデータを作成しました。ホームページの『資料掲載ページ』からダウンロードできますので、是非ご活用ください。

～ 文書分類用ラベル作成手順について ～

このデータは平成28年度学校文書分類表を元に作成しています。

① 作成したい年度を入力

自動的にシート「様式1～70」のへ反映します。

副題や分冊は必要に応じて入力してください

NO	項目	保存年限	標 題	副 題	分冊
1	0 0	1年未満	庶務事務取扱通達		
2	0 0	永年	学校沿革史		
3	0 0	5年	校長事務引継書		
4	0 0	30年	諸式典関係書類		
5	0 0	30年	寄附收受関係書類(学校長専決)		
6	0 0	5年	学校日誌		
7	0 0	5年	学校運営(行事)関係書類		
8	0 0	5年	寄附收受関係書類		
9	0 0	5年	文書收受簿		
10	0 0	3年	庶務関係書類		

② シート「データ」の中から印刷したい項目のNOをシート「様式1～70」の2行目に入力

データの印刷したい項目のNOを入力

データの印刷したい項目のNOを入力

データの印刷したい項目のNOを入力

③ 印刷

すべて印刷しない場合はページ設定を行い印刷してください

データが反映しない場合は「ファイル」→「オプション」→「数式」→「計算方法の設定」の中の「ブックの計算」を自動(A)に設定してください。

◎ カットして文書分類用ラベルとしてご活用ください。



●編集後記●数年ぶりの寒波にも負けず、今年も正門の水仙がきれいに咲いて癒しを与え、季節の変化を教えてくれています。今年度も残り1カ月。この1年を振り返り反省しつつ、次年度に向けて新たな気持ちで頑張っていきたいと思います。(K)